

2026年度 愛知学泉大学シラバス

シラバス番号	科目名	担当者名	実務経験のある教員による授業科目	基礎・専門別	単位数	選択・必修別	開講年次・時期
123231089	イベントプロデュース演習 Event Produce Workshop	原田 伸介			1	選択	3前期

科目の概要

本科目では「イベントが社会的に果たす役割は何か」という問いかけをテーマに、国際博覧会などのイベントの歴史レガシー及び概念と種類と構造からそれを紐解き本質を理解する所からスタートしたい。その上でイベントの企画・アイデアの発想法、企画書の作成、マーケティング方法、集客方法、イベントの運営方法を中心に、イベントが完成に至るまでの一連の過程に必要な知識・技術を体系的に学習していく。自ら組み立てたイベントの「パーパス(存在意義)」から、コンセプト、プランを考へ、学習したイベントの社会的役割を構築していく。様々な問題を自らの発想と提案力で解決出来る力・教養(リベラルアーツ)を養っていく。

具体的には、(イベント)講義・グループワークで身に付けた「イベントプロデュース技能」を(アウトプット)実際の現場(名古屋城金シャチ横丁)に行き、独自のイベント企画を実施する事で成果を実体験してもらう。

実施したイベントは、東京で開催される日本で唯一のイベントコンテスト「JACEイベントアワード」に学生部門で応募する。

ここの学習を通して「イベントが社会的に意味のある存在となるために必要な専門的知識・技術を身につけて、社会に貢献することができる」また、「イベントの持つ多角的な視点、思考力、倫理観・教養(リベラルアーツ)を養い自律的に想像力を持って考え行動する社会人として自らの可能性を高めて社会に貢献することができる」ようになることを目指す。

学修内容	到達目標
① イベントの定義、概念と歴史からイベントが持つ社会的役割やイベントがもたらす効果を知る。自己紹介 ② イベントの基本構造と構成要素・基本形式 重要4大管理を理解して、企画するノウハウを学ぶ。 ③ イベントの企画 構想・計画・実施 運営、アイデアの出し方について学ぶ ④ 基本構想を企画書にして、実施に向けてのスケジュールを組み アイデアを形にして実現化するプロセス ⑤ 実施計画を作り、実施に必要な項目をリスト化し 責任を分担する ツール スタッフ スケジュールを理解 ⑥ イベントのプロモーションについて学び 計画中のイベントのプロモーションを行う プレスリリースの作成 ⑦ イベント現場を体験し、感想を分かち合い、学びとする。イベント現場における改善点を互いに共有する ⑧ アカウントマネジメントを学び イベントの収入。支出の構造を学ぶ 予算管理とお金の仕組み。リスクマネジメント ⑨ 実施イベントを検証し、体験を分かち合い学びとする。 外部評価を得る 伝える力 ⑩ イベントから得た感動や学び、創造力をこれからの実生活で生かすことができるようになる。	① イベントの定義や社会的役割、効果を説明することができる。「パーパス」なぜイベントを実施するか?に答えることができる ② イベントの構造から、日々の事象を構造にあてはめ分析・構築することができる ③ イベント組み立て方のノウハウを知り、自分でアイデアを磨く力を付けられる事が出来る。 ④ 実施のためのスケジューリングができる 行程管理 時間管理のための方法を習得する ⑤ スケジュールに従い、スタッフ、機材、資金、法的課題、協力者を決め、行動することができる ⑥ 広報戦略 広報計画を作り実施することができる ⑦ 報告書の作成、体験のシェアができる 結果を踏まえて課題と解決方法の基礎を理解できる ⑧ プロジェクトにおける資金の管理ができるようにする お金の仕組み 利益を出す構造を知る。リスク回避の手法を理解する ⑨ イベントの評価ができるようにする。 多様な評価軸を持つ PDCAサイクルで検証できるようにする ⑩ イベントをリベラルアーツとして自分の人生を創造しより豊かなものとしていう事が出来る。

学生に発揮させる社会人基礎力の能力要素 **学生に求める社会人基礎力の能力要素の具体的行動事例**

前に踏み出す力	主体性	自分のやりたいこと、やるべきこと になりたい自分を問い自発的に行動できるようにする。授業時間外の予・復習をしっかり行っただうえで授業にも積極的に参加することができる。
	働きかけ力	人を巻き込む姿勢、態度、コミュニケーションを学び、人前でプレゼンテーションする力をつける。
	実行力	実現するための、実施計画、必要な行動、着手方法を学ぶ。 前に踏み出すためのきっかけの作り方を学ぶ。
考え抜く力	課題発見力	実習での体験、授業で紹介される事例のほかにも自身でも様々な事例を探し、発想を広げることができる。まねる 考える 組み合わせる 創り出すの体験を通し、独自性のある企画を生み出す方法を学ぶ
	計画力	導き出した企画・計画に対して、なぜを繰り返す、ブラッシュアップするのか。「考える」から「練る」へ
チームで働く力	創造力	構想から 実現可能な計画へ そして 自ら企画したものを 実施していくプロセス 行動を体験する
	発信力	人を巻き込むコミュニケーション力をつけ、チームの力を最大化する
	傾聴力	ヒアリングシートを利用して、もれなくダブリなく 具体的に聞く力を養う。質問力をつける 相手が話したくなるコミュニケーション方法を学ぶ
	柔軟性	個性を認め それぞれの役割を担い責任をもって遂行する力をつける 現場での臨機応変の対応ができるための心構えと準備ができるようにする。
	状況把握力	進捗管理 外部環境の情報収集と分析 対応力をつける 情報収集能力 情報の真意の検証方法取得する
	規律性	授業内で決められたルールを遵守することができる。時間を守る イベントにかかわる 法令を学び 遵守する。 イベントにおけるコンプライアンスを設定し、守る方法とチェック機能を作り実施する
	ストレスコントロール力	スケジュールの遅延や計画通りにいかない場合、外部環境の急変に対応する、心も持ち方を学ぶ。リーダーシップとフォロワーシップ役割を知る

テキスト及び参考文献

テキスト：使用しない。必要な資料は授業内で配布する。
 参考書：JACEイベント検定公式テキスト、JACEイベントアワード

他科目との関連、資格との関連

「イベントプロデュース演習」では「リサーチリテラシー」「プレゼンテーション基礎」「ビジュアルプレゼンテーション」で獲得した知識・技術を活用する。
 また、「地域の暮らしと生産」「地域ブランド論」「流行論」で得られた知見も科目内容の理解に深く関わっている。
 本科目は「スタジオC(地域活性)」のプロジェクトを進めていくために重要な科目でもある。

学修上の助言	受講生とのルール
授業内容を理解するうえでも、各種イベントに積極的に参加してほしい。名古屋城金シャチ横丁に3週目に見学に行き、見て、触れた、感じたものを、イベントという手法を使い、金シャチ横丁で具体的に14週目で実施する。最終的にJACEイベントアワードにエントリーする。	この科目はグループワークを中心として進行していくため、欠席しないようにしてほしい。どうしても欠席しなければならない場合には、教員だけでなく、グループメンバーにも事前連絡をすること。また、ディスカッションなどの場面では積極的な態度で臨むことを心掛けてほしい。

【評価方法】

評価対象	評価方法	評価の割合	到達目標			各評価方法、評価にあたって重視する観点、評価についてのコメント	
学修成果	学期末試験	0	①		⑥		
			②		⑦		
			③		⑧		
			④		⑨		
			⑤		⑩		
	小テスト	0	①		⑥		
			②		⑦		
			③		⑧		
			④		⑨		
			⑤		⑩		
	レポート	40	①	✓	⑥	✓	イベント体験①（参加者側の視点）からイベント会場（金シャチ横丁）を見学してレポートする。（10点） ①現地での見学を踏まえ、自分が感じた施設の課題を考える。 ②日々、若者が来場しやすい会場としてイベントアイデアを考える。
			②	✓	⑦		イベント体験② 最終プレゼンテーションで決定したイベントを全員で実施！結果をレポートする。（30点） ①自ら企画し学んで来たアイデアを形にしてアウトプット出来たか検証してみる。 ②自ら企画し学んで来たアイデアを形にしてアウトプット出来たか検証してみる。
			③	✓	⑧	✓	③自ら企画し学んで来たアイデアを形にしてアウトプット出来たか検証してみる。 ④イベントは工程管理通り進める事が出来たか検証する。 ⑤イベントは品質管理を進める事が出来たか、法的課題、協力者との折衝が上手く出来たか検証する。 ⑥イベントは広報戦略で予測通り集客する事が出来たか検証する。 ⑦イベントは予算管理が予定通り無理なく出来たか検証する。
			④	✓	⑨		※レポート課題はGoogle classroomで提出 ※レポートA4Wordイベント体験①は最低2000字以上 イベント体験②は最低4000字以上
			⑤	✓	⑩	✓	※AIの使用に関しては、出力内容をそのまま転記は不可とする。 ※イベントの実施に際しての予算は金シャチ横丁が支給します。
成果発表（プレゼンテーション・作品制作等）	50	①	✓	⑥		イベントのプレゼンテーション【中間発表企画書（30点）】 事前にチーム分けした3チーム個別に、◆のイベントプレゼンテーションを行う。 ◆イベントのネーミング（人の意識を引き付けるネーミング） ◆アイデア/コンセプト（独創・斬新性・志しの熱さ） ◆インパクト/経済効果（集客力・社会課題の解決や社会に対するインパクト・文化的な価値の創造） ◆オペレーション/テクノロジー（参加者の満足度・IT,DXなど技術革新・運営の安全管理・サステイナビリティ視点・デザイン性）	
		②	✓	⑦	✓	イベントのプレゼンテーション【最終の発表企画書（20点）】 中間発表の発表を全員で評価して1つに絞り、そのイベントのプレゼンテーションを3つの役割ごとに分担して行う。 ◆イベント品質管理（デザイン性、仕上がり工夫、コンセプト・ネーミングとの整合性） ◆イベント工程管理・広報（実施当日までの工程に無理はないか、運営実施が出来るか・広報計画・プレス資料） ◆予算・安全管理（実現可能な予算配分か、その為の関係者との折衝、安全管理は出来たか） ◆それぞれの役割を評価した上で1つにまとめた際に協力して出来ているか、実施案の精度・整合性と実現性を主な評価のポイントとする。	
		③	✓	⑧		※企画書とプレゼンテーションのデータはGoogle classroomで提出。パワーポイント、映像・画像等を交えて提出。 ①テーマ、進行台本、②工程表、当日スケジュール表、プレス資料、③準備品リスト・予算表・安全管理表、緊急連絡網） ※AIの使用に関しては、出力内容をそのまま転記は不可とする。	
		④		⑨	✓		
		⑤		⑩			
学修行動	社会人基礎力（学修態度）	10	①	✓	⑥	✓	【主体性】授業時間外の子・復習をしっかり行っうえで授業にも積極的に参加することができる。自身のスケジュール管理ができる 【実行力】【計画力】構想から実施計画までのプロセスで具現化、仮説、準備ができる。 【課題発見力】【創造力】実習での体験、授業で紹介される事例のほかにも自身でも様々な事例を探し、発想を広げることができる。 【発信力】既知の組み合わせと、独自の発想による個性を生かした創造力を生み出すプロセスを取得し、生活に生かすことができる。 【傾聴力】自分の意見、思考、感情を表現し、良好なコミュニケーションをチーム内でできるようにする。またターゲットに向けて、最適な発信手法を選択できるようにする。 【規律性】コンペのオリエンテーションヒアリングや会議、見学での議事録作成ができるよう傾聴、記録、まとめ、表現の力をつける。 【規範性】授業内で決められたルールを遵守することができる。 【働きかけ】不必要なタイミングでスマホ等を使用しない。 【働きかけ】自らメンバーに呼びかけチームビルドと協働により、目標達成をすることができる。
			②	✓	⑦	✓	
			③	✓	⑧	✓	
			④	✓	⑨	✓	
			⑤	✓	⑩	✓	
総合評価割合		100					

【到達目標の基準】

到達レベルS(秀)及びA(優)の基準	到達レベルB(良)及びC(可)の基準
<p>・授業に積極的に参加し、グループワークなどの際にリーダーシップあるいはフォロワーシップが発揮できている。</p> <p>・優れた着想と明確な根拠に基づいて課題が作成されている。</p> <p>上記2点が特に優れていると判断した場合にS評価とする。</p>	<p>・授業に積極的に参加(5回以上の欠席で不可)している。</p> <p>・課題が期限内に条件通りに提出できている。</p> <p>・最終課題であるイベント参加の企画 制作 運営にかかわる。</p>

週	学修内容	授業の実施方法	到達レベルC(可)の基準	予習・復習	時間(分)	能力名
1	プロローグ 自己紹介 「イベントは人を集める技術ではなく、人を変える構造である！」 イベントの社会的役割を国際博覧会のレガシーを例に再検証してみる。 みんなのイベント体験を紹介しあう。	講義 プレゼンテーションの基礎 自己紹介(1分間スピーチ/ニックネーム) 質疑応答 ディスカッション	科目の概要が理解できる。 多様なイベントの種類が理解できる。 チームビルディングの為の情報収集	(予習) シラバスを読んで、この科目の学修内容を理解しておく。 自己紹介の練習(1分間スピーチ/ニックネームを考えておく) (復習) 授業で聞いたイベントに即した事例レガシーを探す。 メンバーのニックネームを覚える	90	主体性 働きかけ力 課題発見力 発信力 傾聴力 規律性
2	イベントの定義、構成要素、分類などを学ぶ。 イベントで最も重要な「4大管理」を学ぶ。 それイベント進行にもたらす効果について知る。	講義 ディスカッション	イベントの定義、構成要素、分類などが理解できる。 4大管理などを認識している。	(予習) これまでに自分が参加・体験したイベントを調べて分類してみる。 (復習) 講義を聞いてこれから参加・経験してみたいイベントをさらに調べリストアップする。	90	主体性 課題発見力 柔軟性 規律性
3	イベント体験①インプット (名古屋城金シャチ横丁見学 現場調査) 参加者側の視点から施設やイベントを調査する。	実習 フィールドワーク 来場者として改善点を検証する	名古屋城金シャチ横丁を見学に参加できる事。	(予習) 参加する施設イベントの概要を事前確認しておく。HP SNSチラシ等 (復習) 参加した施設イベントの課題をレポートにまとめる。	120	主体性 実行力 課題発見力 傾聴力 状況把握力 規律性
4	イベントの企画の仕方を学ぶ 自らイベントを作る際の企画書の作り方、プレゼンテーションの仕方を学ぶ	講義 ディスカッション	企画書の組み立ての考え方、プレゼンテーションの仕方を理解できる	(予習) 体験した会場・イベントの自分なりの解決策をを考えてみる。 (復習) 解決策を元に自らの企画の方向性をまとめる。	90	主体性 課題発見力 状況把握力 規律性
5	イベントの企画① 自らの企画の概要を6W2Hで整理する。 企画書のまとめる	講義 グループワーク チームビルド(3チームを想定) プレスト 企画書にまとめる イベントにおける「ネーミングの重要性」を学ぶ。 最大3グループに集約	イベントの基本構成要素が理解できる。 企画書作成力	(予習) 事前に配布された資料を確認しておく。 (復習) 各種イベントの事例を6W2Hで整理する。	90	主体性 課題発見力 計画力 創造力 状況把握力 規律性
6	イベントの企画② イベントの目的からターゲットとベネフィットを設定する。	講義 グループワーク プレスト	イベントの目的からターゲットとベネフィットが設定できる。	(予習) 事前に配布された資料を確認しておく。 (復習) 授業時間内に完了しなかった課題を完成させる。	90	主体性 課題発見力 計画力 柔軟性 規律性
7	イベントの企画③ 目的why what howにそって、目標を設定しイベント内容を検討する。	講義 グループワーク	イベントの企画内容をまとめることができる。	(予習) 事前に配布された資料を確認しておく。 (復習) 授業時間内に完了しなかった課題を完成させる。	90	主体性 実行力 課題発見力 計画力 創造力 柔軟性 規律性
8	イベントの企画④ プレゼンテーション【中間発表】 イベントの企画書を作成する。	グループワーク グループディスカッション パーパス、コンセプト、テーマなどイベントの概略を中間発表する。	イベントの企画書を作成することができる。	(予習) 事前に配布された資料を確認しておく。 (復習) プレゼンテーションして自分のチーム、その他のチームの評価をする。	90	主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 規律性

能力名：主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性 ストレスコントロール力

週	学修内容	授業の実施方法	到達レベルC(可)の基準	予習・復習	時間(分)	能力名
9	イベントの運営計画① 中間発表でプレゼンしたイベント企画を全員で議論、評価して1つに絞り込むディスカッションを行う。決定したイベントのスタッフの役割分担をする。自分たちで作成したイベント企画に必要な人員構成を検討する。	講義 グループワーク	イベントの運営に関わるスタッフの種類と役割が理解できる。 イベントの4大管理の再認識。	(予習) 事前に配布された資料を確認しておく。 (復習) それぞれの役割を確認して、授業時間内に完了しなかった課題を完成させる。	90	主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 傾聴力 状況把握力 規律性
10	イベントの運営計画② イベントのネーミングの大切さ効果的な方法を知る。イベントの広報計画を学ぶ(プレスリリース資料の作成)自分たちで作成したイベント企画に最適な宣伝告知の方法を検討する。	講義 グループワーク	宣伝告知の方法とその必要性が理解できる。	(予習) 事前に配布された資料を確認しておく。 (復習) 授業時間内に完了しなかった課題を完成させる。	90	主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性
11	イベントの運営計画③ イベント開催のために必要な準備(スケジュール管理、予算管理表、安全管理表等)を知る。自分たちで作成したイベント企画を実施するために必要な準備を検討する。	講義 グループワーク	イベント開催のための事前準備の重要性が理解できる。	(予習) 事前に配布された資料を確認しておく。 (復習) 授業時間内に完了しなかった課題を完成させる。	90	主体性 課題発見力 計画力 柔軟性 規律性
12	イベントの運営計画④ イベント当日のマニュアル・タイムテーブル・備品リスト・予算書・安全管理表/緊急連絡網などを作成する。	講義 グループワーク	イベントの運営マニュアルを作成することができる。	(予習) 事前に配布された資料を確認しておく。 (復習) 授業時間内に完了しなかった課題を完成させる。	90	主体性 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 状況把握力 規律性
13	イベントの運営計画⑤ プレゼンテーション【最終発表】 授業内で役割分担して作成したイベント案のマニュアルを発表し、相互に意見を交換する。総合的に全体を俯瞰してみる事を学ぶ	プレゼンテーション グループディスカッション	役割に応じてイベントマニュアル案を発表することができる。 ディスカッションに積極的に参加できる。	(予習) 役割分担に応じた発表の準備をしておく。 (復習) 自身の発表に対して受けた指摘をまとめる、実施に向けて準備する。	90	主体性 実行力 課題発見力 計画力 規律性 ストレスコントロール力
14	イベント体験②アウトプット(名古屋城金シャチ横丁でイベントを実施) イベントの実際に体験してみる。	実習	イベント現場で役割通り運営を実施出来る	予習) 主催参加するイベント内での自分の役割を確認しておく。 (復習) 主催参加したイベントの内容をレポートにまとめる。	120	主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 規律性
15	エピソード 実施したイベントを「JACEイベントアワード」応募提出してみる。応募用紙の内容にそれぞれで記述する。	講義 グループワーク 3つの視点で記述してみる ①アイデア コンセプト ②インパクト 経済効果 ③オペレーション テクノロジー 全員でブラッシュアップして応募用紙を完成させる。	自分の実施したイベントを客観的にまとめる事が出来る。 より魅力的な内容にブラッシュアップ出来る。	予習) 応募するイベントアワードについて前年度の内容などをHPで確認しておく。 (復習) 応募するイベント内容を応募用紙まとめたものを再度見直す。	90	主体性 働きかけ力 課題発見力 発信力 規律性

能力名：主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性 ストレスコントロール力